

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2018年12月16日公開
スロベニア・リュブリャナから

皆さん、シャローム。スロベニアのリュブリャナより、こんばんは。



スロベニア・リュブリャナの美しい街並み

つい先日、ポーランドのワルシャワで、妻と一緒に素晴らしい時間を過ごしました。それについては、また後ほどお話しますが、妻はそのまま家に帰り、私はミニストリーで、ここスロベニアへやって来ました。

主がとても祝福してくださったので、それについても、後ほどお話します。

その前にお祈りをしましょう。

お父様。私たちの住む、この素晴らしい時代に感謝します。

お父様。あなたは全地の主であられ、天と地と、そこにいる者全てを造られました。

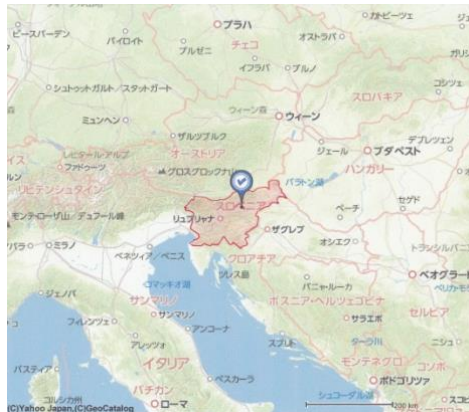
お父様。あなたはここ、スロベニアでも主であられます。人口 200 万人の内、信者の数は千人足らずです。お父様、あなたに感謝します。あなたはこの地でさえ、レムナント（残りの者）を置いてくださいました。お父様。どうか、引き続き盲人の目を開いてください。

そしてあなたの子どもたちを使って、この時代のキリストの使節、城壁の見張り人としてください。お父様。この場所に感謝します。地元の教会に祝福をお与えください。また、この国があなたに近づきますように。お父様。これから私達が語り合うことに対して、感謝します。キリストを通してのみ、与えられる救いの真実が、最終的には、いたるところで鳴り響きます。あなたに感謝し、あなたを祝福します。イエスの御名によって。

アーメン。

アーメン。

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。スロベニアのリュブリャナより、ライブを^{おこな}行っています。



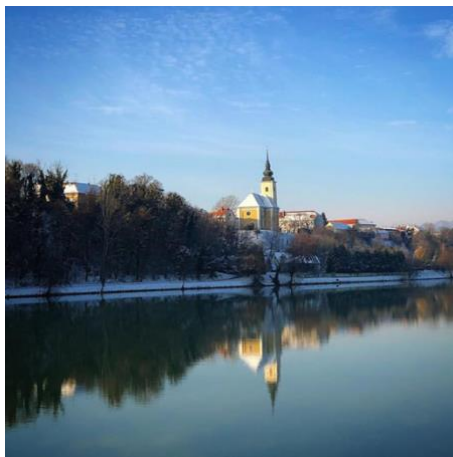
スロベニアの地図

人口 200 万人、端から端まで 300km ほどの国の首都です。この国は、南はクロアチア、東にハンガリー、北にオーストリア、西はイタリアに囲まれています。以前ユーゴスラビアの一部だった場所で、国民はとても素晴らしい人たちです。

衝撃なのは、ここに住む 200 万人の内、新生しているクリスチアンの数は、千人に満たず、教会の数も少なく非常に小さいです。

だから昨日、私が到着した時に、私はものすごく衝撃を受けたのです。

私は金曜の夜に到着して、第二都市のマリボルまで車で移動しました。



マリボルの町

事前に、教会はとても小さくて、50~60 人ほどだと聞いていて、私にとっては、教会のサイズは関係ありません。事実、小さい教会や、個人レベルにまで主があまり知られていない国に行くのが、私は大好きです。それから、大勢の人が私達を支援してくださっていることに、私はとても感謝します。そのおかげで、このような国や、小さな教会に負担をかけずに済んでいますから。

そこで、私は教会に到着して驚いたことに、なんと昨夜は、170 人近くが集まったのです。私がとても驚いたのは、信者の数が 800 人近くの国で 170 人、その内の 160 人は地元の人たちだったのです。地元のスロベニア人です。

中には、ドイツから来ていた人や、交換留学で来ていた中国の人、カナダの人、それから、何人かの友人がルーマニアとウィーンから来ていました。

しかし、地元の人たちが 150 人~160 人集まったという事実には、私はぶっ飛びました。

これは、国全体の信者の約20%ですよ？その彼らが来たのです。

私はメッセージを2つして、それから、私の証を話しました。また、皆さんの素晴らしい話も聞きました。本当に感動的でした。特に、彼らがとても謙虚で、とても飢えていることに驚きました。

昨夜、私は、3～4時間話をして、日曜日の今朝はここスロベニアにある、「インマヌエル・ペンテコステ教会」で、メッセージをしました。と言っても、皆さんが考える“ペンテコステ”ではなく、とても秩序正しい教会で、ペンテコステではありませんが、おかしいことが起こる“超カリスマ/ペンテコステ”ではありません。

興味深かったのは、私がメッセージした後、今回は、まだ一度も語ったことのない「いのちの書」についての、新しいメッセージでしたが、とても良い反応でした。ただ、とても衝撃的だったのは、メッセージの終わりに皆さんに別れの挨拶をしようと、私が壇から下りて行くと、若い人たちに取り囲まれたのです。少なくとも20人はいましたが、彼らは私に30～40分近く、質問しました。

私はこれを「説教の後の説教」と呼びますが、全ての国に彼らのような若者がいれば良いのに、と思います。彼らは、もっともっと学びたいと、ものすごく飢え渴いていて、講師に近づいて質問することに、何のためらいもないのです。

あれは感動的でした。私は、全ての国で若者たちが神の御言葉に対して、あれくらい飢え渴くように祈るべきだと思います。



「説教の後の説教」若者たちから質問攻め！

ということで、私は本当に祝福されました。実際、2年前にクロアチアからの招待に応えたのが、今回に繋がったのですが、彼らは私を招待した時に、私たちが「YES」と言ったことに、とても驚いていました。少なくとも、クロアチアの教会の1つは、私が受けるとしていなかったようです。なぜかといえば、皆、常に数字を考えますから。

「渡航費は出せるだろうか？」「ホテル代は出せるだろうか？」

だから私たちはいつも言うのです。

「聖霊が導くなら、私たちは全てをまかさないですから、何も心配しないでください！」

だから、私がクロアチアに到着した時には、皆が本当に感動してくれて、とても素晴らしかったです。そして、そのクロアチアの集会に、スロベニアから来ていた人がいたのです。お隣の国ですからね。そして、その人達が私を招待してくれて、今回に至ったのです。

また、今回からヨーロッパの別の場所へと繋がって行くでしょう。ただ感動します。

私の脳裏に浮かんだのは、神が、バアルに膝をかがめていない人たちを残しておいた、とエリヤに言わ

れた話です。(書記注：第一列王記 19 章 18 節参照)

ヨーロッパは無神論で神を恐れず、ヨーロッパは非常に暗い暗い場所です。それは、人々の目に表れています。しかし、神が人々を残しておかれ、彼らは、神の御言葉に飢え渴いています。彼らは、大興奮しています。彼らには、励ましがが必要です。

私は、そこに行って分かち合い、教え、彼らを励ますことが出来て、本当に祝福されました。皆様のご支援とお祈りに、感謝します。それによって、このように、世界の様々な場所で、兄弟姉妹を励ましたり、私が行っているこれら全てが可能になっていますから。

それから、結構な数の未信者の人たちも来ていました。また私が聞いたところによれば、彼らはメッセージにとっても感動していて、たくさんの事を考えていたと言います。

とてもよいことです。感謝します。

次に、先ほどお話しした通り、私はスロベニアに来る前に、4~5 日休暇で、妻のミリアムとポーランドに行っていました。



ポーランド・ワルシャワ

ミリアムも私もポーランドにルーツを持っていて、妻のお父さんはホロコーストを生き残ったポーランド人である両親が、イスラエルに向かう途中のイタリアで生まれました。

私の母は、イスラエルに向かう途中のキプロスで、ポーランド人の両親のもとに生まれました。事実、私の母方の祖父はポーランド在住のロシア人で、ワルシャワ出身のポーランド人だった私の祖母と結婚したのです。彼らはまた、ワルシャワのゲットーも経験しています。ですから私たちは二人とも、いつかワルシャワのゲットーを見たいという思いがあって、あちらに住む、イスラエル人のガイドが率いるツアーに参加しました。

私達にとっては、これらを目にするのはとても辛いことでした。

私達は、真新しい都市に行きました。皆さん、理解しておいてください。ワルシャワはナチスによって完全に破壊されています。

戦争の終わり、1944年にポーランドはナチスに対して、大反乱を起こしました。

そしてナチスは、ワルシャワを地図上から抹消する事を決断し、ごくわずかなものだけが残りました。また、その1年4ヶ月前に起こった、ゲットーの反乱でも、ゲットーのものが、わずかに残っていました。

驚愕したのは、ナチスが、ヨーロッパのポーランドで最も繁栄していたユダヤ人社会の1つに来て、45万人のユダヤ人を捕え、1マイル(1.6km)四方の場所に押し込んだのです。

そこで、天候状況や飢え、チフスといった病気で10万人が死に、その他の人たちは、トレブリンカの死の強制収容所に移送されました。

ところで彼らは、あちらで新しい生活を始めるために、トレブリンカに移送される、と言われていたのです。「ただ、場所を移るだけだ」と。

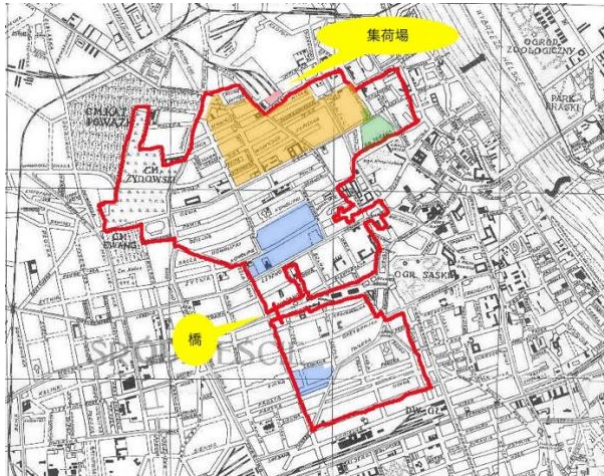
実際、親戚から送られて来たようなハガキが偽造され、全てが良く、全てが素晴らしいと告げました。中には、何かがおかしいと疑った人もいました。

2年近くの間、毎日、4000人から7000人の人々が、ウムシュラクプラッツ(集荷場)と呼ばれる場所に連れて来られ、その場所から人々は死に送り込まれました。

そこでは、ナチスが子どもたちをどのように扱ったか、人々をどのように扱ったのか、その話を聴くのは、私たちにとってはとても辛いことでした。

すごかったのは、私達は通りを見たのですが、そこは一般のポーランド人用の道で、非常に高級な通りでした。小さいゲットーと、大きなゲットー、2つのゲットーが飛び地のようになっていますが、そこには木製の橋がかかっている、ユダヤ人たちは、こちらかこちら、どちらかに住まなくてはならず、彼らは、その道に入ることが許されていませんでした。ですから彼らは、上に登って天国を見て、それから地獄へと戻り、地獄から出て来て天国を見て、また地獄へ戻るのです。

信じられませんでした。



ワルシャワゲットー

さて、私がこれをお伝える理由は、こういったツアーに行くと、今でさえ年配の男女ポーランド人たちが来て、「ホロコーストなんて無かった!」と言うのだそうです。

私はまさにこの目で、「ユダヤ人出て行け!」とドイツ語で書かれているのを見ました。

これは、80年前にドイツ人たちが言った言葉です。未だに人々がこんなことをスプレーで書いているなんて、驚きです。

次に、私がこれらのことをお話しする理由ですが、よく聞いてください。

現在、ヨーロッパで反ユダヤ主義の波が、増大しています。ホロコースト以来、これまでどの歴史にも

ない規模です。事実、現在の反ユダヤ主義は、その前にあったものと同様です。それからもう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、反ユダヤ主義が主流になって来ています。もはや人々が避けるものではなく、もはや隠そうとするものでもありません。

5日前に起きた、フランスのストラスブールでの銃撃事件の約3時間前、フランスのストラスブールのユダヤ人墓地が、荒らされました。墓石の37箇所、37箇所です、スプレーで鉤十字と共に「ヒトラー万歳」と書かれていたのです。これが起こったのは、フランスのストラスブールで、ムスリムが「アッラー・アクバル」と叫びながら4人を射殺する3時間前です。死亡者の一人は、タイからの旅行者でした。



ユダヤ人墓地の墓石に書かれていた鉤十字（左）と、ストラスブールのクリスマスマーケットテロ（右）

皆さん、「黄色いベスト運動」によって、マクロンが追放されようとしています。

信じ難いかも知れませんが、彼らの怒りの大部分は、ユダヤ人に向けられているのです。

フランス国内での、経済的困難が増大している状況と、ガソリン税の増加によって、人々が爆発しました。そして人々は、ユダヤ人の住民達が、経済的に割と豊かなのを目にして、また、マクロンを見て、—— 皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、マクロンは政界入りする前に、ロスチャイルドの元で働いて富を築いたのです。また彼の後見人には、何人かの非常に裕福なユダヤ人たちがいます。彼らはフランスの政治運動において、非常にリベラルな左翼です。

ですからマクロンは、ほぼ“ユダヤ人の操り人形”として理解されていて、人々は彼のことをそのように見えています。



テロ事件現場に花を手向けるマクロン仏大統領

その上ユダヤ人住民たちが、郊外に住む他の人たちに比べて、良い生活をしているのを見て、人々は、これはユダヤ人の搾取だ、ユダヤ人の仕業だと言い、今や全ての怒りがユダヤ人に向けられています。非常に興味深いのは、こんにちのフランスと、80年前のフランスとの違う点は、80年前は、宗教的な怒

りやその他のことで蓄積された反ユダヤ主義でした。しかし、今回は、古いタイプの反ユダヤ主義に、過激派イスラムの反ユダヤ主義が合わさっています。それらが全て合わさり、それに加えて経済状況が良くないこともあり、基本的には、時限爆弾ということです。

そして非常に興味深いのは、イギリスのテリーザ・メイが、自身の政党の不信任投票で、首相としての座を失う寸前だったのです。ギリギリのところでも助かりましたが、彼女は現在、非常に不安定な状況にいます。



テリーザ・メイ英首相（左）とジェレミー・コービン（右）

そして、労働党の指導者ジェレミー・コービンが、待ち構えています。

この男は、反ユダヤ主義で有名で、テロリストを賞賛する人間、テロリストの墓にブーケや花を手向けるような人間で、イスラエルを憎み、ユダヤ人を憎んでいます。あろうことか、この男がイギリスの首相になれば、イギリスは、もはやイスラエルの味方ではなくなります。それを理解しておいてください。ですから私たちは現在、増大する反ユダヤ主義の波を見ています。

それはアメリカ全土、ヨーロッパ全土、世界中の多くの場所で起こっています。

そこで私は自問していたのですが、これは何らかの形で聖書預言に一役買うのか？特にヨーロッパに関して。

皆さん、ご存知の通り、私は、反キリストが西ヨーロッパから興ると信じています。そして私は気づいたのが、反キリストは、文字どおりヨーロッパの大混乱の中で興り、ヨーロッパの人々に希望をもたらすのです。しかし彼は、ヨーロッパでユダヤ人を喜ばせる事には興味はありません。彼の関心は、ユダヤ人の全員をイスラエルに行かせる事です。そうすれば彼は、神殿建設を認めることで、あちらで、彼らを喜ばせる事が出来るのです。そして最終的には、彼らが全員あちらにいる間に、自ら神殿に入り込み、自分が神であると宣言します。

そこで私は考えていたのですが、ヨーロッパは、ユダヤ人の住民を全員追い出そうとしていて、イスラエルは現在、さらにどんどんヨーロッパからの移民を受け入れています。

ほんの1週間前エルサレムで、ツアーの皆さんと一緒にいた時に、私は、ある会話を耳にしました。金曜の夜でしたが、アメリカのユダヤ人たちが1つのテーブルにいて、それから、イギリスから来ていたユダヤ人家族がいました。アメリカのユダヤ人たちは、ユダヤ教の慣習を実行していないユダヤ人で、「ユダヤ人が大半の場所に来たのは初めてだ。」

とっていました。

そして、イギリス人家族に彼らは話しかけて、あちらでの状況を聞きました。

あの中で、私だけが唯一のイスラエル人です。私は、イスラエル在住のイスラエル人で、ユダヤ人。そこへ、私の目の前で、アメリカと、イギリス、2つのユダヤ人家族が、ユダヤ人として、他の場所で暮

らすとはどのようなものかを話しているのです。

そしてイギリスのユダヤ人が言いました。

「この先10~15年以内に、イギリスにはユダヤ人が一人も残っていないだろう。もう、これ以上は耐えられない。こんな状況を、これ以上続けることは出来ない。」

すると、アメリカのユダヤ人たちはとても驚いていたので、私は、彼らを見て言いました。

「どうして、そんなに驚くのです？反ユダヤ主義は、アメリカにも全土にあるじゃないですか。」

皆さんご存知かどうか分かりませんが、現在、“新(ネオ)ナチ主義”の巨大な運動が、アメリカで起こっていて、非常に多くの反ユダヤ的な事が行われています。

ところで、今の時点では、そのほとんどは、少なくともニューヨークシティーでは、トランプ支持者が^{おこな}行っているわけではありません。

言っておきますが、彼らは、白人至上主義者でもありません。念のため。

ただ、私が言いたいのは、我々が見ているのは、ものすごい反ユダヤ主義の興りで、世界中で起きています。そしてそれは、聖書預言において、非常に大きな役目を果たします。

私が信じているのは、ユダヤ人たちは、文字どおりイスラエルに帰還せざるを得なくなり、

そしてイスラエルで、彼らはものすごい圧力、苦しみ、攻撃に遭い、そこで彼らは、メシアを心から切望するようになります。そこへ、反キリストが興り、彼らは、彼を受け入れます。ですから、非常に興味深いことになるでしょう。

もう一つ、2日前に起こったことをお伝えしますと、

オーストラリアの首相スコット・モリソンは、新生したクリスチャンだと聞いていましたが、彼はこの数ヶ月の間、エルサレムを首都として認識することを考えていて、彼はトランプ大統領に、それについての話までしていました。しかし正直に言えば、それは、私たちが祈っていたことではありませんでした。



西エルサレムをイスラエルの首都だと承認宣言するモリソン豪首相

昨日、彼は宣言しましたが、基本的には、祝福を述べに来て、実際には呪いを宣言したのです。彼は、基本的には次のように言いました。

「我々は、西エルサレムのみを、イスラエルの首都として認識する。また、東エルサレムは、将来パレスチナ国の首都になる、と我々は信じている。我々は、二国解決策を信じている。」とか何とか。

さて、これは酷いと私が考える理由ですが、誰も納得する必要はありませんが。

ちなみに、ロシアでさえ、ロシアですよ？アメリカが、エルサレムをイスラエルの首都として認識するはるか以前に、ロシアは、西エルサレムをイスラエルの首都として認識していました。インターネット

で調べてください。ロシアは、西エルサレムを、イスラエルの首都として認識しています。彼らは、アメリカがエルサレムをイスラエルの首都として認識する前に、それを行いました。ロシアが、西エルサレムは、と言いました。なぜか？

エルサレムは分断するべきだ、というのは、共通の策略だからですよ。

両方と仲良くしたいなら、「この半分はあなたのもので、こっちはあなたのものだ。」と言うのです。信じ難いかも知れませんが・・・だから、トランプ大統領がした事は、革命的だったのです。皆、理解していませんが。

あまりにも多くの人たちが、トランプ大統領が、エルサレムを分断しようとしていると言って非難していますが、彼らは、1つのことを理解していません。

トランプ宣言が革命的なのは、彼は、「エルサレムの半分はイスラエルの首都である。」とは言わず、彼は基本的に「エルサレムの全部が、イスラエルの首都である。」と言ったのです。それで足りなければ、さらに、よく聞いてください。

彼はまた、東エルサレムにあった、アメリカの領事館を閉鎖したのです。

「我々は、2つの部分、2つの国家があるとは信じていない。」と告げるために。

「都市は1つ、主権は1つ、大使館は1つだ。東エルサレムのアラブ人であるあなた方が、何らかの大使の業務を求めるなら、あちらの大使館へ行きなさい。東エルサレムには、今後一切、領事館を置かない。アメリカは、正式に、エルサレム全部がイスラエルの首都である、と認識する。」

これは、革命的なことです。

そして、これを私たちは、オーストラリアのスコット・モリソンにも期待していたのです。

しかし彼は、ムスリムの圧力や、アラブ連盟の警告、それから彼らの保安局たちの、

「そのような事を言えば、地獄の火蓋が切って落とされる」

という彼らの発言に屈したのです。

彼らはトランプにも同様のことを行いましたが、トランプは、全く気にも留めず、彼は恐れません。あまりにも多くの欺きがある事、あまりにも多くの腐敗がある事を、彼は知っています。自分が信じるなら、最後まで突き進んで実行すべきであることを、彼は分かっています。だから私は、彼にとっても感謝しているのです。

ですから、オーストラリアの認識は、非常に時代遅れで、恐れや何かで、非常に政治的に汚染されていて、私は、このような事は期待していませんでした。正直言えば、彼らは、何も言わなければ良かったのに、と思います。

なぜかといえば、今では、彼らは、エルサレムは分断されるべきだ、と正式に認識したのですから。それまでは、彼らは何も言っていなかったのに。これが、私の意見です。

ヒズボラに関して、週末の間に、我々は、4番目の国境を超えたヒズボラのテロトンネルを暴きました。彼らは、どうしていいのかわかりません。皆さん、私たちは彼らの全てのトンネルの地図を持っています。私が滞在している、このホテルの一室でさえ、この下にトンネルがあったとしても、たった1つとして、その位置は、私には分からないでしょう。

それが、何百kmという広大なエリアで、どこから掘り始めるかなんて、どうすれば分かるでしょう？それが、我々には、どこから掘り始めればいいのか、分かっているのです。我々には、配置図があります

から。

我々に、テヘランの中心に 20 箇所あるうち、異なる 12 箇所のイランの機密地下金庫から、全ての核記録公文書を取り出す事が出来るなら、我々にとって、ヒズボラの地下トンネル構想図に手をかけるのは、非常に簡単です。ですから、我々は、それを持っています。そして彼らは、ものすごくイライラしているのです。彼らがものすごくイライラしているのは、ここまで、彼らは、つまらない普通のロケットにナビゲーションを付けて、精巧でスマートな武器にする計画実行に、失敗していますから。

我々は、シリアから入る、これらの装置を、ほぼ全て破壊しています。

イスラエルがシリアで攻撃しているのは、ほとんど全てが、イランの積荷である高性能兵器と、普通の武器に装着するための精巧システムです。

そこで、何があったかというと、

イランは、精密誘導兵器ナビゲーション付ミサイル製造工場を、レバノンのベイルートにある空港周辺に建設することを決意しました。

イスラエルは、レバノンに警告しています。

「これを見ろ。我々は、トンネルを暴露した。これは、戦争行為であり、我々にはこれに対して報復、必要であれば攻撃する権利がある。」

それから私たちはすでに、レバノン政府に伝えました。

「もし、あなた方が、ヒズボラの高性能兵器で武装しようとする行為を止めなければ、我々は攻撃する。」

我々はそれを、ベイルート内のフランス、アメリカの大使を通して伝えました。

興味深いのは、実際、トンネルの発見を公にすることで、我々は、2つのことを得ました。

必要であれば、レバノンを攻撃する権利を得て、それから、ヒズボラに恥をかかせました。

彼らは今、よく分からなくて言っています。

「誰が“もぐら”なのか?！」

「明らかに、彼らがこんな機密計画に手をかけたとすれば、実際に我々の中の誰かが、イスラエルのモサドに情報を流しているはずだ。」

これは、かなりすごいことです。

それから皆さん、もう1つお伝えしたいのは、私達がポーランドにいる間、—— ところで、私たちは素晴らしい時間を過ごしましたよ。必要な時間でしたし、本当に楽しみました。

ただ、私たちがポーランドにいる間に、カトヴィツェと呼ばれる別の都市で、また、気候変動の代表者会議がありました。彼らは、執拗にこれに取り組んでいて、そして彼らは、

「気候変動に関するパリ協定を、再び復活させる方法において、ついに合意に至った」

と言います。

彼らは、何らかの合意に至り、踏み出した、と。

皆さん、思い出してください。まず、コメント欄に Steven Crowder の番組の ユーチューブリンクを載せておきます。その中で、彼が司会するその番組に、Patrick Moore という人が出演しています。彼は、カナダ人の博士で科学者、彼は“グリーンピース”の創始者の一人です。その彼が、気候変動詐欺の全貌を暴露しているのです。彼は基本的にこう言っています。

「金が全て、予算が全て、人に信じ込ませるために、数字を膨らませる事が全てだ。」

ところで、私はずっと言ってきましたが、私が心のそこから信じているのは、

気候変動というのは、世界統一政府をもたらそうとする敵の罠です。

なぜか？それは、他のやり方は、どれもうまく行かないからです。

国境を開放して、国家主義を完全に破棄しようとするれば、実際には、国々が立ち上がって、敵対して来る。それなら、国家主義が一切役に立たないものとは何か？地球を守ること。

だから、この“気候変動アジェンダ”を 推し進めなければならない。全世界に2つのことを伝えるのだ。

「気温が上がっていて、地球が温暖化している。」

それから、もう1つ、「化石燃料の使用による二酸化炭素の増加が、その原因だ。」

この同じPatrick Mooreが、とても面白いことを言っています。

これはまるで「サメの攻撃と、アイスクリーム消費に、大きな繋がりがある」と言っているのと同じである。

皆さんは、恐らく思っているでしょう。

「何故だ？サメに襲われることと、アイスクリームの消費？」

そうです。

「アイスクリームの消費量が最高に達するのと同時に、サメが噛み付く件数が最高に達する。だから、アイスクリームを食べれば、サメが来て人に噛み付く、と結論づける事が出来る。」

というのは、馬鹿げた結論です。

何故かといえば、第3の要因として、夏季があります。より多くの人泳ぎに行き、より多くの人アイスクリームを食べます。

そのために、人々がアイスクリームを食べるのと同じ時期に、サメに襲われる件数が増える、それだけです。そこでどういうことかというと、地球温暖化があり、これは私も否定しませんよ。それは、誰もが感じていますから。それから、化石燃料の使用によって、二酸化炭素の使用が増えています。しかし、この2つの接点は、今まで一度も証明された事はありません。

もう1つ、お伝えすると、我々が、現在経験している温暖化は、1700年代に始まっています。1700年代、1800年代は、誰も二酸化炭素を排出していませんでした。実際、1700年代あまりにも温暖化が進んで、1814年には、ロンドンのテムズ川は凍らなくなったのです。

1814年以来、もう凍っていません。では、1814年に川が凍らなくなるほど、温暖化が進んだとすれば、本当に二酸化炭素の使いすぎが原因でしょうか？

正気ですか？

1つ言えるのは、今は皆が、これは民意の一致だと言います。誰もが、温室効果ガスの使用が、地球温暖化の原因だと信じています。

さて、民意の一致ですが、ガリレオが、地球は平らではないと証明するまでは、地球は平らであるというのが、民意の一致でした。アインシュタインが、その関連を証明するまで、皆がそれに反対でした。事実、彼が正しいと分かるまで、人々は、彼の言った事に敵対して、デモを行っていました。

つまり、民意の一致があるからといってそれが正しいという事ではありません。多くの人間違い事もあります。

ところで、民意の一致とは 科学的な言葉ではありませんよ？「民意の一致があるから、これは正しい」とは言えません。それは、間違いです。

民意の一致は、メディアが、…私は“ミデヤン人”と呼びますが、彼らが、人々を洗脳するところから

来るのです。皆が確信していて、彼らは、自分で調べることもしません。どこでも、皆が同じことを言っているから。しかし、私は言うておきますよ。Stephen Crowder の番組での Patrick Moore へのインタビューを、ぜひご覧ください。

9分から20分まで、彼はずっとそれについて語っています。これは、すごいですから、皆さんにも、知っておいていただきたいと思います。

そして今回、私が気候変動と反ユダヤ主義を、このアップデートで繋げている理由ですが、マクロンはガソリン税を引き上げて、それによって、ガソリンの使用を減らそうとしていて、それは、気候変動対策が目的だからです。そこへ、フランス国民が言っているのは、

「申し訳ないが、我々は、地球の温度を二度下げるなどという、あなたの馬鹿げた計画のために、代価を払ったりしない。」

「あなたは、地球の温度を二度下げるとか、これ以上温度を上げないようにするために、我々全員を飢え死にさせるのか？我々は、そんな事はしない！」

これが詐欺であり、大金が絡んでいることは、誰もが理解しています。しかし、最も重要なのは、ローマ法王フランシスの発言です。

法王フランシス自身が、次のように言ったのです。皆さんも、インターネットで見られますよ。彼は言いました。

「地球温暖化との戦いを強化するために、世界政府が必要だ。」彼が、こう言ったのです。環境問題は、国境を越え、国を超え、何か非常に大きなものとなっていて、そのため、全ての国を従わせる為の、世界的な管理機関が必要だ、と。皆さんは今、トリックを見ているのです。トリックは、地球温暖化とは一切関係がありません。

ところで、地球は、歴史を通して、寒暖のサイクルを繰り返しています。

我々が現在目にしているのも、何ら変わりありません。ちなみに、地球が寒くなる方が、暖くなるよりもはるかに危険ですよ？

同じく Patrick Moore が言っていました、アメリカとカナダを見てください。

アメリカの方が国土は少ないのに、人口は10倍です。何故か？

それは、カナダは寒すぎて人が住めず、食べ物が育たないからです。ロシアも同様です。

言うておきますが、地球温暖化は、実際には良いこともあるのです。

寒くて農作物が育たなかった場所が、農業が出来るほど暖かくなるのですから。

皆さん、我々人間は暖かい気候に適した種であって、寒い気候には適していません。

皆、それを理解しなければなりません。

ですので、繰り返しますが、これは詐欺であり、悪魔の計画です。またこれは、世界を支配するための統一政府をもたらそうとするグローバル化の働きの一部です。

これが、「“パリ”気候変動協定」であることに、私は驚きません。

先ほども言いましたが、ヨーロッパ、具体的にはフランス、ドイツは、変化を命じ、それによって大きな危機に陥り、救世主、指導者を生み出す場所となりますから。

彼が最終的には、反キリストとして行動します。私はそう信じています。皆さんも、そのようになっていくのを目にされるでしょう。

ということで、皆さん、理解されたことを願います。今日は以上です。多くの事が起こっています。西岸地区では、多くの事がヒートアップしています。何故かという、何かを得るためのパレスチナ人の戦いにとって、今年は史上最悪の年だったためです。

史上最悪の一年です。エルサレムが承認されただけでなく、大使館がエルサレムに移動しただけでなく、その上、彼らが勝ちとろうとしたことの全てが失敗に終わりました。

全てのガザでの暴力行為から、何も得られませんでした。それに加えて、カタールが彼らに毎月払っていた、1500万ドルです。彼らは文字どおり、人々を死なせ、負傷させるために送っていたのです。彼らは、非常に多くの悪を行ないました。何のために？

月々1500万ドルのため、それだけです。なんという悲劇でしょうか。

それから、もう1つお伝えすると、アメリカで、新しく選ばれたパレスチナ人の女性国会議員が、就任時、国会にパレスチナ人の格好をして出席し、コーランに宣誓する計画をしています。彼女は、皆さんに毎日思い出させるでしょう。毎日、です。

アメリカは、もはや、かつてのアメリカではない、と。そして皆さんは、彼女を見るたびに、かつての偉大なるアメリカは、もう、戻って来ないと思い知るでしょう。

パレスチナのプロパガンダが、民主党の保護のもと米国議会にまで入り込んだとは、かなり驚きです。皆さんは、これより酷い事態を見るようになりますよ。人々は、正気を失っていますから。彼らは、あまりにも激しく互いを憎み合うあまり、彼らが投票する人間は、アメリカのためになる計略を一切持たず、多大に他の宗教や、他の事、他の人の利益になるような計略ばかりです。

皆さん、以上です。いいですか、たくさん悪い事を話しましたが、神が御座に着いておられます。イエスは、まだ、道であり真理であり、いのちです。皆さんに言っておきたいのは、私は今、ここスロベニアにいて、人口200万人の国で、信者の数は千人以下800人です。想像出来ますか？彼らは主を愛しています。

ご主人と一緒に、私を空港に迎えに来てくれた女性は、十代の時に、車の事故でご両親を亡くして、彼女は、祖父母のもとで、兄弟姉妹と共に育ったそうです。彼女には、神を憎み、世を憎み、全ての人に対して怒りを覚える、あらゆる理由がありました。しかし彼女は、キリストを見つけたのです。そして彼女がキリストに出会った後、彼女の兄弟と姉妹、もう一人の姉妹、その後、彼女の残りの家族、そして今では、彼女の夫も信者となり、彼の兄弟も信者になったそうです。

皆さん、希望はあります。その希望は、この世の政府にはありません。希望は、この世の組織にはありません。私達の希望は、私達の主にあります。天と地を創造された方にあります。

今日のメッセージは、「あなたの名前は、いのちの書に書かれていますか？」

これが、私達が確かなものとするべきことです。私たちは理解しなければなりません。

ただ、信仰によってのみ、そして私達の信仰を反映する人生によって、私達は、私たちの名前が小羊のいのちの書に書かれている事を確かなものとする事が出来るのです。

そして、私達が天国に行った時、数々の書が開かれる、と聖書は告げています。

私たちは、確実に私達の名前が、正しい書に書かれているようにしなければなりません。

なぜなら、他の書は、他の人たちが対応しなければならない書ですから。

我々のすべきことは、神が他の書を私たちに読まないようにすること。

私たちの名前が、小羊のいのちの書に記されているように。

ですから、混沌とした中、多くの混乱の中、あまりにも多くの憎しみの中にあっても、主を信頼しましょう。真の平和、真の愛、真の希望は、唯一、イエスの中にしか見出せません。ですので、皆さん全員を励ましたいと思います。どうか、たじろがないで、疲れてしまわないで。良いですか？残念ながら、言わなければなりません。イエスは、使徒たちにバラ色の人生は約束されませんでした。

「今は、あなたも信者だから、全てが素晴らしくなる。」

とは、彼は言いませんでした。事実、彼が言ったのは、

33 …あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

(ヨハネ 16:33)

私たちの希望は、2000年前にもうすでに達成された勝利の中にあるのです。

私たちは、これから起こる“かも知れない”ことに期待するのではなく、

私たちは、これから必ず起こる事を期待しているのです。なぜかといえば、

23 約束された方は真実な方ですから。

(ヘブル 10:23)

彼は、史上最も暗闇の時代に、皆に、その真実さを現してくださったのです。そして彼は、あなたの救い主にもなってくださいます。主の御名を呼び求めてください。そうすれば、あなたも救われます。悔い改めて、あなたには救い主が必要である事を認識するのです。

彼はすぐそばにいて、あなたの面倒をみてくださいます。それが、最も大事な事です。

それから、クリスマスシーズンに入りましたが、クリスマスはチョコレートやママレードが全てではありません。クリスマスは、ツリーが全てでもありません。クリスマスは、小さな赤ちゃんや人形が全てでもありません。クリスマスは、プレゼントが全てではありません。クリスマスは、ご馳走が全てではありません。クリスマスは、イエスが全てです。人の姿でこの世にこられ、最終的に、ご自身を捧げるために彼は来ました。

そのために、私たちは、自分たちが未信者として犯した過ちの結果に、対処しなくてもいいのです。

私たちの罪は取り去られ、もう裁かれる事はありません。

私たちが彼を信じた瞬間に、もう裁きが私達を待ち受ける事はなく、結婚式が私達を待っているのです。

私たちには、もはや艱難は待ち構えていません。私たちは、携挙を待ち構えています。

私たちには、この世の恐ろしい事は、もはや待ち受けていません。私たちは、ものすごい豪邸に行くのです。主が、御言葉の中で、私達に約束してくださった事が、たくさんあるのです。ですから、

1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

(コロサイ 3:1)

サタンは、兄弟たちを告発しますが、私達には、偉大なる助言者、偉大なる弁護人、イエスがいます。イエスがあなたの救い主でいる限り、彼があなたを守ってくださいます。

彼だけが唯一、いつもいつも、神が、あなたのことを完璧な者として見るようにしてくださるのです。シミのない者として。彼の血潮のおかげです。ですから、それにしがみついてください。

この恐ろしい世の中において、これが、私達の希望であることを忘れないでください。

繰り返しますが、皆さんに感謝します。多分、クリスマスまでにもう1回ライブをすると思います。

皆さん全員に、この素晴らしい一年を感謝します。

世界中の20カ国近くを訪れましたが、その多くは、皆さんがいなければ、決して行くことが出来ませんでした。多くの人が救われ、多くの人が励まされました。暗い世において、福音の希望を伝える素晴らしい機会でした。

ですから、皆さんのお祈り、皆さんのご支援に感謝します。それによって、大きな違いをもたらしましたから。

それからもう1つ、私達のアプリの外観が新しくなりました。

Behold Israel のアプリは、アップルとアンドロイドの両方からダウンロード可能ですので、ぜひアップデートしてください。

皆さん、私たちのウェブサイトが新しくなりました。BeholdIsrael.org です。

それから、今日の「説教の後の説教」の写真をご覧になりたい方は、私のインスタグラム beholdisrael をご覧ください。

「beholdisrael」続けて一語です。ぜひ、フォロー、LIKE をしてください。

それから私達のウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブチャンネルも フォロー、登録をお願いします。

皆さん、ありがとうございます。では、最後にアロンの祝福で終わりたいと思います。

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וַיַּחַנְךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יְשֵׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

主は、あらゆる理解を超える平安をあなたに与えられます。それは世には与えることも、理解する事も出来ない平安、唯一、平和の君だけが与える事の出来る平安を、平和の主が、今も永遠に、ここでも、どこにおいても与えてくださいます。このお祈りを、その平和の君、イエシュア、私たちの救いの御名によって捧げます。アーメン。

ありがとうございます、スロベニアのリュブリャナより I Love you! God bless you!

今回は、イスラエルにいます。次の土曜日は、ハイファにある自分の教会で説教をします。

どうか、お祈りください。私は、世界中の多くの場所で、大勢の前で説教する事が出来ますが、自分の属する小さな集会在、多分、一番苦手です。

ですから、皆のお祈りが必要なのです。

ありがとうございます。 God bless you! スロベニアよりシャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

「スロベニア・リュブリャナの美しい街並み」、「マリボルの町」、「『説教の後の説教』若者たちから質問攻め!」、「ポーランド・ワルシャワ」: Instagram beholdisrael

スロベニアの地図: Yahoo 地図 着色は書記

ワルシャワゲッターの地図: [https://ja.wikipedia.org/wiki/集荷場_\(ワルシャワ・ゲッター\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/集荷場_(ワルシャワ・ゲッター))

ユダヤ人墓地の墓石に書かれていた鉤十字: Daily Mail “Jewish tombstones are discovered desecrated with Nazi swastikas in cemetery outside of Strasbourg—as Isramist gunman behind Christmas market slaughter remains on the run” 2018/12/13

ストラスブールのクリスマスマーケットテロ: The Guardian “Strasbourg shooting: French and German police hunt gunman” 12 Dec. 2018

テロ事件現場に花を手向けるマクロン仏大統領: Daily Mail “French President Emmanuel Macron visits Strasbourg Christmas market to pay his respects hours after fourth victim of terror attack dies” 14 Dec. 2018

テリーザ・メイ英首相: BBC News “Theresa May: ‘If we are to leave with a deal this is it’ ” 2018/12/14

ジェレミー・コービン: BBC News “PMQs: Does Coby call May a ‘stupid woman’ ?” 2018/12/19

西エルサレムをイスラエルの首都だと承認宣言するモリソン豪首相: YouTube euronews (in English)

“Australia recognizes West Jerusalem as Israel’ s capital but won’ t move embassy yet” 2018/12/15